



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2020年9月15日
大阪市立大学

大阪市立大学・メディカゴ社
「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応したウイルスの植
物由来ウイルス様粒子(VLP)」
の譲渡・使用に関する MTA を締結

【概 要】

大阪市立大学は、メディカゴ社（本社：カナダ ケベック市、CEO:ブルース ク
ラーク (Bruce Clark)）と、同社が開発した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に
対応したウイルスの植物由来ウイルス様粒子 (VLP) の譲渡・使用に関する研究材料
提供契約 (Material Transfer Agreement (MTA)) を締結しました。

大阪市立大学大学院医学研究科ゲノム免疫学教室（教授 植松智）は、独自の粘
膜ワクチン技術を開発しており、メディカゴ社から提供された VLP を用いて、新型
コロナウイルスに対する粘膜ワクチンの感染防御効果を動物実験において検証し
ます。

※VLP=Virus Like Particle（ウイルス様粒子）

本研究への抱負

私たちの粘膜ワクチン技術は、病原体が侵入してくる粘膜面に IgA をはじめとする
粘膜免疫を強力に誘導できるものです。粘膜から侵入してくる新型コロナウイルスを
水際で防げる新しいワクチンの開発を目指します。



植松 智 教授

【本件に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学 広報課
担当：古澤
TEL：06-6605-3411
Email：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp